

---

A star of the loneliness (孤独な星)

QUALOID

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

A star of the lonelines (孤独な星)

### 【Nコード】

N8428H

### 【作者名】

QUALLOID

### 【あらすじ】

世界には三つの国しか存在していなかった。1つ目は「リアス」遺伝子操作により「魔法」という力を会得した人たちの国2つ目は「サイルシエア」近代科学や機械兵器を作成使用する人達の国3つ目はエリアル世界がいざこざを起こさないように中立を保ち、「ARIE」と呼ばれる世界を監視・管理するために作られた人工知能を中心とした、アンドロイドの国そうだったこの3つの国だけである。この3つの国しか存在しない星で出会ってしまった2人の男女



## VoI・0 プロローグ(前書き)

初めて書いた小説ですので、誤字脱字、変な文章構成が目立つと思います。見つけたら連絡をくれると幸いです。

## Vo1.0 プロローグ

### プロローグ

3029年・・・世界には三つの国しか存在していなかった。

1つ目は「リアス」 遺伝子操作により「魔法」という力を会得した人たちの国

2つ目は「サイルシア」 近代科学や機械兵器を作成使用する人達の国

3つ目はエリアル 世界がいざこざを起こさないように中立を保ち、「ARIE」と呼ばれる世界を監視・管理するために作られた人工知能を中心とした、アンドロイドの国

そうだったこの3つの国だけである。

そうなってしまった経緯をさらっと説明することにしよう。

まず3020年に勃発した9年戦争によりほとんどの国は消滅してしまっただ。

9年戦争が起こる前は大小20〜30の国々があったが9年戦争が終結する直前に、

とある科学者が開発した究極超兵器「PIG」が大国2つを残しその他の小国を

跡形も残さず消滅させた・・・その後「PIG」は「ARIE」という国を作り世界の管理に乗り出した。

この究極超兵器「PIG」を作った科学者は人類存亡の危機と思

電源を切ろうとしたが、

「PIG」の管制人格がそれを許さず、管制人格は科学者を殺した。究極超兵器は「AI」を搭載した破壊兵器である。

その後「PIG」は怒りを抑制された半分機械半分人間であるアンドロイドを作り出した。

その体制が整ってから600年たったこの世界で、ほんわかして  
いてまったり好きな無敵の戦闘方式不明の「リオ」と

「リオ」の事が好きになってしまったがどう接していいのかかわからない古代の剣術を継承する女剣士「シグナム」の  
めっちゃくちゃな奮闘記?です。

リリカルなのは等のキャラクターも出てきますのでお楽しみに・・・

大いなる力、ひよんな出会い

「はぁ・・・はぁ・・・はぁ・・・私がこんな後れを取るとは・・・」

桃色の髪を血で赤く染め、甲冑が無残にも半壊状態の女騎士が、よろめきながら逃げていた。

仲間とはいつも独断で先行していた彼女は、アンノウンな敵に遅れをとってしまい今にも倒れてしまいそうなほど、重傷を負っていた。そんな彼女をアンノウンは容赦なく攻撃してきた。

「敵をみつけたぞ!!!殺せ!!!」

「砲撃用意」

「!!!!・・・クツ・・・ここまでか」

彼女めがけてアンノウンたちは一斉に砲撃準備に入った。

「打て」

「!!!!」

アンノウン達から一斉に魔法弾が発射され彼女めがけて一直線に飛んできた。そんな時桃色の髪の女騎士の前に銀髪の青年が現れアンノウンめがけて指をさした。

「あっち向いてホイ」

青年がそう言うと一斉に桃色の髪的女騎士に飛んできていた魔法弾が元飛んできたアンノウン目がけて飛んでいき、一瞬で全滅させてしまった。

「大丈夫かい？」

にこやかに笑う青年を彼女は意識が無くなりながらも見ていた。

・

・

・

・

・

「ん・・・ここは、いったいどこだ？・・・痛っ・・・」

彼女が意識を取り戻したのは小さな小屋のような場所の一室のベットの上であった。

コンコン

「ん？誰だ？」

彼女の部屋の扉から聞き覚えのある声が聞こえてきた。

「お！起きたみたいだな」

「お前は、あの時の」

「おお、覚えとったんか」

彼女が少し警戒しているにもかかわらず、青年はニコニコとしながら彼女のベットの横に座った

「お前が私を助けてくれたのか？」

彼女は不思議そうに青年に聞いた。

「そうだぜ？もうすぐであんたが死んでたところを俺が助けたんだ」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8428h/>

---

A star of the loneliness（孤独な星）

2010年10月15日13時56分発行